

各ブースへ気を配りながら  
巡回する高之さん



歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド

70  
市民の皆さんが  
たくさん登場

☆今回訪ねたのは  
「達子森の夏祭り」  
H23. 7.30取材



**夏**とえば、何を連想しますか？「やっぱり祭りでしょうー！」という人も多しはず。そこで大の祭り好きの私が選んだ取材先は「達子森の夏祭り」。会場は夕暮れ時の比内養護学校グラウンド。自分も行ったことがない祭りなので、いったいどんなイベントと出会いが待っているかな？ いや〜楽しみだな！

**来**場者の数に圧倒され、活気にあふれた会場の雰囲気は驚かされたのが第一印象。ここはまず運営者に話を聞かねばと思いつく本部へ向かうことに。対応してくれたのは、比内養護学校の教諭で祭りの事務局長を務める**菊池高之さん**（小館町）。すごい人数ですね「今年で3年目になります、最初が540人。2年目が650人。今年は800人を見込んでいます！」それだけ多くなると大変ですよ。」「学校と町内会の連携という中でのやりとりは難しいが、こうやって人が

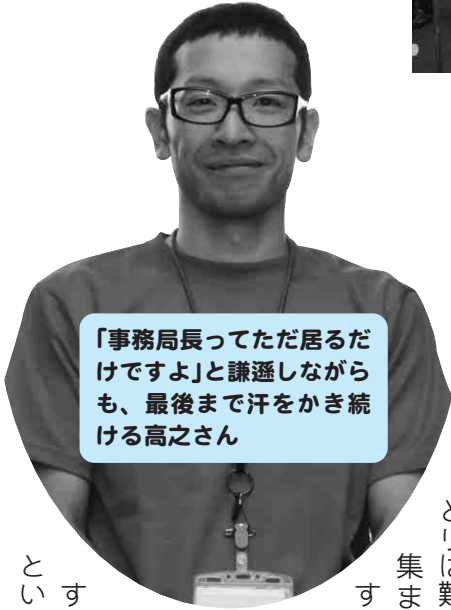
集まるとすべてが報われます！」とすでに充実した様子。どうですか生徒たち

の様子？「夏休み前から子どもたちも

楽しみにしていたイベント。普段とは違う顔

が見られてうれしいです！」。普段はおとなしい

という生徒さんたちも、学校



「事務局長ってただ居るだけですよ」と謙遜しながらも、最後まで汗をかき続ける高之さん

では怒られそうな大きな声で出店ブースのPRをしながら会場を歩き回るなどにかく積極的で元気！ これも高之さんの普段からの教えのたまものですね！  
**地**域の人たちにも話が聞きたいな。ということで再び高之さんのもとへ行き、ご紹介いただいたのは祭りの実行委員長の**野呂俊一さん**（水曲）。話を聞くと、この祭りの実行委員長は達子森周辺の前田野・水曲・釣田・達子町内会と片貝二ツ森自治会の輪番制で行っているとのこと。準備段階で苦労したことは？「今年で3年目だが、すでに準備の仕方浸透してきて万全だよ」とのこと。「とにかく先生方が積極的に動いてくれるし、ありがたい！」と関係者への感謝の気持ちが大いご様子。「問題は『焼き鳥』。昨年から100本増やして800本用意したがすぐに完売。来年は1000本にするか！」とすでに構想が。私も焼き鳥を食べべられませんでした（泣）。何とか実現してくださいね！

「問題は大いご様子。焼き鳥は昨年から100本増やして800本用意したがすぐに完売。来年は1000本にするか！」とすでに構想が。私も焼き鳥を食べべられませんでした（泣）。何とか実現してくださいね！



暑い中、地域の人たちと焼き鳥作りに精を出した俊一さん

出店ブースは、子どもたちで大にぎわい

